

お知らせ  **法人設立50周年記念事業**

福祉ボランティア 社協フェスタ

- 法人設立50周年シンポジウム
「人に優しく、災害に強い福祉コミュニティを目指して」
- 朝の天気予報でおなじみの正木 明さんトークショー
- 地域組織・団体、ボランティアや大学、行政などの取組、東日本大震災下の取組の発信
- 子どもたちの遊び体験、防災ゲーム体験
- ユニバーサル・スタジオ・ジャパンキャラクターやエンターティナーによるステージショー
- 飲食・喫茶コーナー、被災地応援物産コーナー など

日時 平成23年10月2日(日) 午前10時～午後3時
場所 **みやこめっせ**
テーマ 「人に優しく、災害に強い福祉コミュニティ 京都」

日頃からの災害への備えや身近な地域での助け合いの大切さ、ボランティア活動の大切さを体感していただけるよう、いろいろなコーナーを用意しています！
※くわしくは、ポスター、チラシ、ホームページをご覧ください。

京都市の  **社会福祉協議会**

しゃ かい ふく し きょう ぎ かい

平成23年度版 9月発行

目次

P.1 京都市の社協行動指針を定めました	P.3 子育て支援事業
P.2 居場所づくり活動 見守り活動	日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)
	P.4 お知らせ 東日本大震災被災者支援の取組

京都市の社協は、市域の市社会福祉協議会(市社協)、行政ごとの区社会福祉協議会(区社協)、小学校区ごとの学区社会福祉協議会(学区社協)の三層で構成され、市・区・学区社協の連携、関係機関・団体との協働により、社会福祉法に基づき地域福祉活動を進めています。本年は、市社協が法人化して50周年を迎えています。

京都市の社協行動指針を定めました!

近年、少子高齢化の進行やコミュニティの弱体化、厳しい雇用情勢を背景に、孤独死、虐待、ホームレスなどの新しい福祉課題が深刻化し、社協においても適切な対応が求められています。
さらに、東日本大震災で明らかになった災害時要配慮者への平常時からの支援の重要性や介護保険制度における地域包括ケアシステムの来年度からの導入を控え、皆様から寄せられたご意見も踏まえて、この度、社協行動指針を定めました。

基本目標 人に優しく、災害に強い、信頼の絆で結ばれた福祉のコミュニティづくりを進めます。

社協の3つの役割(地域活動・相談支援・指定管理事業)と共通基盤の目標

地域活動の目標

- 住民相談会、住民懇談会や調査などを通じて常に住民の福祉ニーズや地域の福祉課題を把握し、関係機関・団体と共有するとともに連携を図ることにより、住民の福祉ニーズの充足や地域の福祉課題の解決に取り組めます。
- 健康すこやか学級や寝具クリーニングに加えて、身近な地域で、高齢者、障害者、児童などに対する見守り活動、居場所づくりなどの生活支援を通じて孤立を防止するとともに、災害時にも力を発揮する住民の支え合いを進めます。
- 広報・啓発、研修会、活動マニュアルや事例集の整備・活用により住民参加を促進するとともに、地域活動の担い手を育成し、活動の輪を広げます。

相談支援の目標

- 関係機関・団体との定期的な協議の場や個別支援における調整などを通じて連携を深め、生活福祉資金貸付事業などの制度を活用して総合的な相談支援を展開します。
- 広報・啓発による住民の理解を深め、関係機関・団体とも連携した個別支援のネットワークを広げ、災害時にも力となれる地域ぐるみの支援を進めます。
- 研修の充実や経験の蓄積などにより相談支援の技術を向上させるとともに、日常生活自立支援事業や法人後見事業の実施などにより権利擁護を推進します。

指定管理事業の目標

- 利用者アンケートや第三者評価などにより利用者本位の福祉サービスの提供に取り組みます。
- 社協内部の施設や団体はもとより、社協外部の団体や施設とも相互の交流や世代間交流を図ることにより幅広い連携に努めます。
- 地域交流事業を進め、地域の声を施設運営などに反映させるとともに、平常時はもとより、災害時にも貢献できる、地域に開かれた施設づくりを進めます。

共通基盤の目標

- 住民の福祉ニーズや時代の変化に応じた活動や福祉サービスを提供します。
- 個人情報の保護や経理の明確化など法令を遵守し、誰もが参加しやすい組織づくりを進めます。
- 広報・啓発や研修をはじめ、あらゆる事業・活動を通じて、地域福祉の担い手の育成を進めます。

市社協通信

東日本大震災の被災者支援に 全力で取り組んでいます!



▲市長に義援金を預託

多くのご協力をいただき、ありがとうございました

被災地へ役職員派遣

8月末までに仙台市など宮城県下の市町村社協に職員を派遣し、災害ボランティアセンター*の運営支援などにあたりました(延べ445名)。
4月には、村井会長などが仙台市を訪問しました。
*災害発生時、ボランティアと被災者をつなぐ組織

義援金などを受付

区社協、老人福祉センターなどで受け付けた義援金2千万円は京都市を通じて被災地に、また指定のあった義援金5百万円、支援金約7百万円と見舞金百万円は仙台市社協に届けました。

学生ボランティアバスを運行

大学との協働で東松島市(宮城県)に学生ボランティアバスを運行しました。
実施日 平成23年4月25日(月)～同月29日(金)
参加者 32名



泥出し▶

●福祉ボランティアセンターや区ボランティアセンターでは、被災地での活動に必要なボランティア保険の加入手続を行っています。

市内避難者に対して 相談会や交流会を開催

8月に児童を対象にお出かけ事業を実施しました。また、高齢者を対象に次のとおり「リフレッシュと仲間づくり」の事業を予定しています。
実施日 場所
9月13日(火) 山科中央老人福祉センター
9月20日(火) 洛西ふれあい会館
9月30日(金) 伏見老人福祉センター
10月1日(土) 醍醐老人福祉センター
申込み・問い合わせ 長寿すこやかセンター TEL. 354-8741



▲参加した児童たち

参加費 無料

社会福祉法人 **京都市社会福祉協議会**
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都市内
TEL. (075)354-8731 (代表)

社協の活動を映像で
ご覧いただけます

京都市社協

<http://www.syakyo-kyoto.net/>

この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。



居場所づくり活動

ちょっと寄っていき、しゃべっていきか
～有隣学区 いちょう亭～



事前に申し込みが必要でスケジュールが決まった行事ではなく、ふと立ち寄って、時間を気にせずゆっくり会話を楽しめる場所があれば…こんな声に答えて、有隣学区では事前申し込み不要、飛び入り歓迎、ボランティアの手によるおそばを食べてのんびり過ごす高齢者のための「いちょう亭」を月1回開催しています。

元有隣校の懐かしい校舎の一室では、お嫁に来た頃や、子どもが有隣校に通っていた頃の思い出話、今の心配ごとなど様々なおしゃべりに花が咲きます。地域での孤立を防ぐために、緩やかなつながりと地域の皆さんの笑顔が力を発揮するのです。「家にいるとテレビばかりになるけど…ここに来ればお連れがいるしね」ご参加の皆さんの笑顔が印象的でした。



◆下京区のだれでも集える居場所紹介

心の病をかかえる人もそうでない人も安心して集い、自然に交流や仲間づくりができる場「ふう」には、お年寄り、子ども、ご近所の人、旅行者、色々な人が足を運びます。皆さんもぜひ一度お立ち寄りください。

住所：下京区仏光寺通麩屋町西入仏光寺東町126番地
OPEN：月・火・木・金曜日11:00～16:00

ここにもあります！



見守り活動

見守り支援の輪を広げる
～光徳学区社会福祉協議会～



「お弁当おいしかったわ～」「ほんまに!? うれしいわ」

光徳学区では年に5回、地域のボランティアの手による栄養バランスのとれたお弁当を、一人暮らしの高齢者の方にお届けしています。手づくりならではのやさしいお味に、対象者の7割が希望されるという人気ぶり！

顔なじみになった皆さんとはご近所で出会っても声をかけあえる関係ができ、ちょっとした相談やご挨拶に笑顔が広がります。「こうした出会いを大切に、絆（きずな）を育てることが地域の安心へとつながります」と橋本会長…高齢者の生活状況の把握や訪問活動、つどいの場所づくりとも連動し、孤立を生まない、誰もが安心して暮らすことのできる光徳学区をめざします。



◆配食だけじゃない！ 絆を結ぶよりどころ

- 高齢者名簿調査：高齢者の皆さんの生活状況を聞き取り台帳化
- 寝具クリーニング：独居高齢者のお布団洗濯を行います
- 健康すこやか学級：介護予防を目的として高齢者が集える居場所づくり、健康づくりをします
- 小学生との交流：独居高齢者と年賀状での交流や音楽での交流



子育て支援事業

支えあって子育て
～子育てサークル プチきりん～

プチきりんは0歳から1歳までの子育てをする親と子どもの自主的なサークル。ママになって数カ月の新人ママが集います。

下京に知り合いのいないまま子育てをスタートする人も多く、地域の情報や相談者が少ないことも…。「子育てに追われて数カ月、ふと気がつく友達がいなくて、これではいけないと思って、近所で出かけられる場所を探しました」と参加者の方。離乳食や習いごと、お出かけの場所など、プチきりんでのしゃべりが、親子の笑顔と安心を育てています。

孤立した子育てに沈み込み、親が自分を置き去りにしてしまわないよう、仲間とともに子育てを楽しむ出会いの場でありたい…プチきりんの言葉は、地域で子育て支援に取り組む皆さん共通の願いです。

プチきりん会場：京都市下京区総合福祉センター3F 開催日：毎月第1月曜日 10:00～

◆まだまだあります。地域で広がる親子の居場所

子育てサロン：地域のボランティアによって運営される子育て中の親子のためのサロン。民生児童委員会や学区社協により開催されることが多い。

事業所による子育て支援：保育園、児童館などで開催される園庭解放や乳幼児サークルなど。

子育てサークル：お母さんなどによる自主的な集まり。



日常生活自立支援事業
(地域福祉権利擁護事業)

安心して地域で暮らすためのお手伝い
～生活支援員 大募集～

日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)とは？

認知症・物忘れのある方や、知的障がいや精神障がいのある方などを対象に、福祉サービスの利用手続きの仕方や、毎日のお金の管理をお手伝いすることで、日常生活の自立を支援する取組です。

この取組では、利用者のお宅などへ定期的に訪問し、お手伝いを行う「生活支援員」の皆さんに活躍いただいています。利用者に近い地域で登録している生活支援員がお手伝いに入ります。

～あなたも生活支援員として活動してみませんか～ 生活支援員として登録・活動していただけの方を募集しています。関心のある方は、下京区社協までぜひお問い合わせください。

【利用者Aさんの支援について】



活動を通して感じたことは？ 私でお役に立つならお手伝いしています。社会は支え合いで成り立っているのだから、その一助となれば活動しています。【七条第三学区：中田支援員】



現在の活動への意気込みは？ 利用者のお役に立つのなら、こんなにありがたいことはありません。これからも、できる限りを頑張ります。【安寧学区：若槻支援員】

※本ページの活動についてはこちらにお問い合わせください。

社会福祉法人 京都市下京区社会福祉協議会

〒600-8166 京都市下京区花屋町通室町西入乾町292 京都市下京総合福祉センター3階

TEL.(075)361-1881 FAX.(075)361-1663

下京区社協 検索 <http://www.mediawars.ne.jp/fukusi09/>

